



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関 勇一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 綿谷 努

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	32,121	7.3	△798	—	△404	—	△352	—
27年3月期第3四半期	29,945	△8.1	2,016	7.0	2,768	62.1	1,943	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△9.57	—
27年3月期第3四半期	52.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	97,685	42,381	43.4
27年3月期	102,395	43,539	42.5

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 42,381百万円 27年3月期 43,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期末の配当予想は未定です。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,800	16.0	1,800	△34.9	2,300	△34.2	1,300	△51.3	35.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は【添付資料】P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	36,800,000 株	27年3月期	36,800,000 株
28年3月期3Q	1,244 株	27年3月期	1,244 株
28年3月期3Q	36,798,756 株	27年3月期3Q	36,798,764 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や円安、原油価格の下落等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしましたものの、依然不透明感が残る状況であります。

当事業につきましても、チタン事業では、国内向けでユーザーでの在庫調整が前事業年度末で概ね終了したことに加え、一般産業用展伸材需要が回復基調で推移したことにより販売数量が増加しました。この結果、チタン事業の売上高は21,795百万円（前年同期比22.8%増）となりました。なお、輸出、国内向けともに回復基調が確かになったことを受けて第2四半期より着手しているスポンジチタンの増産につきましては、計画どおり順調に進捗しております。

ポリシリコン事業では、半導体用ポリシリコンの需給調整が依然として継続しております。また、国内主要顧客向製品の生産に関わるトラブルが発生したことにより第3四半期に予定していた当該顧客向の出荷が遅延いたしました。この結果、売上高は8,585百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

高機能材料事業では、半導体需要の増加に伴う高純度チタンでの需要増や液晶分野でのTILOP（タイロップ）の堅調な需要を主体に粉末チタンの販売数量が増加したため、売上高は1,741百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は32,121百万円（前年同期比7.3%増）と増収となりました。一方、利益につきましては、スポンジチタン販売量の増加やコスト合理化による好転はありましたものの、たな卸資産評価損の戻入益がなくなったこと、販売数量の増加に見合う増産には電力の年間契約の制約や稼働中の流動塩化炉の生産制約があり、これらの切替に増加コストが発生することから当第3四半期累計期間の販売増に在庫出荷で対応したこと、更にはポリシリコンの出荷が遅延したこと等により、営業損失は798百万円（前年同期は2,016百万円の利益）、経常損失は404百万円（前年同期は2,768百万円の利益）、四半期純損失は352百万円（前年同期は1,943百万円の利益）と減益となりました。

(参考)事業別売上高

(単位：百万円)

		当第3四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	10,964	6,766	62.1
	輸出	10,830	10,978	△1.3
	計	21,795	17,744	22.8
ポリシリコン事業		8,585	10,589	△18.9
高機能材料事業		1,741	1,611	8.0
合計		32,121	29,945	7.3

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、97,685百万円と前事業年度末と比べ4,710百万円減少いたしました。これは、棚卸資産及び有形固定資産が減少したことが主な要因であります。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、55,304百万円と前事業年度末と比べ3,552百万円減少いたしました。これは、借入金が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、42,381百万円と前事業年度末と比べ1,157百万円減少いたしました。これは、四半期純損失及び配当金の支払により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2015年10月29日発表の通期の業績予想に変更はありません。

(注)添付資料P.3「追加情報」に記載のとおり、ポリシリコン事業において、生産トラブルを契機に国内主要顧客との間で今後の製品の納入条件等について協議を行っており、その結果次第では当事業年度の業績に影響が出る可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用）

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（3）追加情報

ポリシリコン事業において、生産トラブルを契機に国内主要顧客との間で今後の製品の納入条件等について協議を行っており、その結果次第では当事業年度の業績に影響が出る可能性があります。また、影響が出る場合は、判明した時点でその内容について速やかに開示いたします。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2015年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2015年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,467	4,684
受取手形及び売掛金	12,107	11,100
商品及び製品	12,173	9,324
仕掛品	5,251	3,917
原材料及び貯蔵品	5,514	6,663
その他	843	2,010
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	39,355	37,696
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,211	13,666
機械及び装置（純額）	28,518	26,692
土地	16,028	16,028
建設仮勘定	557	419
その他（純額）	932	804
有形固定資産合計	60,247	57,611
無形固定資産	1,130	971
投資その他の資産	1,662	1,406
固定資産合計	63,040	59,988
資産合計	102,395	97,685

(単位：百万円)

	前事業年度 (2015年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2015年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,573	4,688
短期借入金	18,040	28,790
未払法人税等	426	11
設備関係支払手形	129	95
設備関係未払金	376	343
賞与引当金	393	93
事業再構築引当金	625	309
その他	958	804
流動負債合計	24,522	35,135
固定負債		
長期借入金	31,290	17,000
資産除去債務	1,300	1,320
退職給付引当金	1,669	1,752
その他	74	95
固定負債合計	34,333	20,168
負債合計	58,856	55,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	25,763	24,675
自己株式	△9	△9
株主資本合計	43,436	42,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	152	97
繰延ヘッジ損益	△49	△64
評価・換算差額等合計	102	32
純資産合計	43,539	42,381
負債純資産合計	102,395	97,685

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)
売上高	29,945	32,121
売上原価	24,546	29,448
売上総利益	5,399	2,673
販売費及び一般管理費	3,382	3,471
営業利益又は営業損失(△)	2,016	△798
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	7
為替差益	409	183
不用品売却益	80	81
受取賃貸料	34	29
補助金収入	486	92
事業再構築引当金戻入益	—	161
その他	6	21
営業外収益合計	1,023	578
営業外費用		
支払利息	220	160
休止固定資産減価償却費	22	6
その他	27	17
営業外費用合計	271	184
経常利益又は経常損失(△)	2,768	△404
特別利益		
固定資産売却益	122	—
特別利益合計	122	—
特別損失		
固定資産除却損	219	109
ゴルフ会員権評価損	—	4
特別損失合計	219	113
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	2,671	△517
法人税等	728	△165
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,943	△352

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	17,744	10,589	1,611	29,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	17,744	10,589	1,611	29,945
セグメント利益	913	902	201	2,016

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

当第3四半期累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	21,795	8,585	1,741	32,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	21,795	8,585	1,741	32,121
セグメント利益又は損失(△)	466	△1,509	243	△798

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業損失とに差異は生じておりません。